

市議会モニター研修会・意見交換会

開催日時	令和3年12月17日（金）13時30分～15時20分
場 所	光市議会本会議場及び第1・第2委員会室
出席議員	中本和行、林節子、森戸芳史、木村信秀、萬谷竹彦、田中陽三、笹井琢、河村龍男、大田敏司、仲山哲男、田邊学、西崎孝一、仲小路悦男、早稲田真弓、中村謙、小林隆司、西村慎太郎
市議会モニター	河野俊雄、岸村晶子、古賀和人、深來登、三浦恵美、吉永泰宏
事務局員	蔵下敏幸、松尾真、山本正実、起本一生
傍聴者	瀬戸内タイムス

1 開会行事（本会議場）

(1) 議長あいさつ 中本議長



(2) 日程説明 萬谷広報広聴特別委員会委員長



次 第

- 1 開会行事（本会議場）
 - (1) 議長あいさつ
 - (2) 日程説明
- 2 研修会（本会議場）
 - (1) 研修会資料説明
- 3 意見交換会（第1・第2委員会室）
 - (1) 意見交換
- 4 閉会行事（本会議場）
 - (1) 各班代表モニターの発表
 - (2) 議員代表の発表
 - (3) 副議長あいさつ

2 研修会（本会議場）

(1) 研修会資料説明 早稲田議員



3 意見交換会（第1・第2委員会室）

A班司会：小林議員 B班司会：仲山議員

2つの班に分かれ、30分ごとに議員が交代し意見交換

	市議会モニター	議員
A班	古賀、三浦、吉永	小林、西村、森戸、中本、笹井、萬谷田邊、西崎
B班	河野、深來、岸村	仲山、仲小路、木村、林、田中、河村大田、早稲田、中村

※市議会モニターの各班の代表をA班は古賀さん、B班は深來さんに決定。

◎意見交換会での主な質疑応答（表示：市議会モニター→モ 議員→議）

【A班】（前半）

モ 一般質問等で使われる言葉が難しく、YouTube で見ている、途中でやめてしまいたくなる。市民に発信したいのなら、もう少しわかりやすい言葉にするなどの工夫がほしい。

モ 現在、委員会での細かいやり取りをその場でなく、本会議場で聞かざるを得ない。臨場感がなく、不便を感じているので、モニターの参加が減っている一因のように思う。



議 12月議会で、役所言葉やカタカナ用語等について、わかりやすい言葉を使うよう、一般質問で取り上げた。

議 わかりやすい言葉になるよう、補足したい。

議 委員会室での傍聴はコロナの影響で、人数制限しているが、資料の配布には注意している。委員会の壁を抜くことも考えたことがあるが、耐震性の関係で難しく、理解をお願いしたい。

モ 委員会の会場を本会議場に移すことができないか。そうすれば、傍聴席で聞くことができる。

議 ルール上、どうなのか分からないが、調査したい。

議 本会議場は、基本的には全議員が参加し、議決や承認等をする場だと思う。

議 本会議場は厳粛な場として、執行部提出の議案の付託や議決をする所で、委員会の審議は委員会室で行うよう区別されている。傍聴の在り方について、検討することは必要かもしれない。

モ 聞いているだけでは、音が切れたりすることもあり、不便さを感じている。コロナ対策としても、広い会場を使ってもらいたい。

議 議会運営委員会で、委員会室内の人数を25人と決めたが、いろいろなケースがあり、空いている場合は入っていただく等、弾力的な運用も可能となっている。

議 委員会では細かいやり取りがされ、委員会室で聞けばわかりやすいと思うが、コロナの影響もあり、ご理解いただきたい。委員会をネットで中継したらどうかも議論されてきたが、会場の狭さと



設備の関係で、庁舎が建て替わらない限り難しい。

モ 本会議場なら放映するシステムがあると思うので、そこでやれば可能なのでは。

モ 仕事などで遠方に行ったとき、Z o o mを使って会議をしているが、すごく便利なので、利用したらいと思っている。光市議会では今、どんな状況になっているのか。

議 モニターにアンケートを取った時、全員ができる環境ではなかったので、ひとまず置かせていただいた。Z o o mもいいが、委員会を傍聴すれば、しゃべっている以外の人の様子もわかり、議事録に載っていることだけでなく、全体的なことも見るができる。ただし、コロナの状況によって、Z o o m会議も考える必要はあると思う。

モ 本会議の開始時間が10時になっているので、質問が12時を超え、チャイムを聞きながらやり取りすることが多くなるが、開始時間を9時半にすれば解消できるのではないかと。また、議場の正面に大きなビジョンを設け、予算資料等も映して、傍聴席から分かるようなシステムを検討したらどうか。

【A班】(後半)

モ 本会議も委員会も会議の開始時間を9時半にしてもらいたい。午後から聞きに来る人の時間も、ずれたりすることがあるので、変えてもらいたい。資料が、傍聴席から見ても分かるような、大きなビジョンに写るシステムを考えてもらいたい。議会に興味を持ってもらい、傍聴者を増やす意味でも、市民側に立った対応をお願いしたい。



議 10時開会がずっと続いているので、難しいこともあるが、都会の方では日曜とか夜間に移行しているところもあるので、もう少し市民側に立った、見やすい傍聴を考える必要があると思う。これからも度々、指摘していただければ、議題に上ると思う。資料を映すことや、Z o o mについては、子どもたちも学校でやっていることなので、必要だと思う。

モ 仕事のある人は日中の参加は難しいので、休日でも一回ぐらい皆さんに見てもらおうようにしたらどうか提案したことがあるが、これと並行して、9時半開会については議員が一致して執行部をお願いしたら、すぐにできると思う。

議 以前から聞いていることでもあり、今後の課題として、真摯に取り組まないといけないと思う。実現するために努力したい。

議 議員は専業だけでなく、兼業している者もあり、10時までに段取りをつけて出席することもある。兼業している議員が承諾すればできるかもしれない。

モ 議員の私的な仕事の段取りについては予想外の意見を聞いたが、議員は市民の付託を受けてやっていると思うので、これは政治倫理委員会の一つの検討テーマかもしれない。

議 9時半からという意見を聞いたが、昼からとか、夕方5時からとかも考えられるので、提言される際に一緒にあげていただきたい。議会としても真剣に考えないといけない時期が来ていると思う。

モ 9時半開催は参加しやすくなる人もいるので、真剣に考えてもらいたい。Z o o mについては、仕事で使用してみたら劇的に変わったので、まずはやってみることから始めたらどうか。

議 9時半開催については、真剣に協議の場を作っていけたらと思う。Z o o mについては議会の

中でも、意識や技術の差があるが、オンライン会議を立ち上げて、活用のルールができているので、実際に活用を進めていきたい。

議 Zoomについては取り扱いを始めて、議会も小中学校に遅れずに、ということで取り組んでいる。個人的には、議場の資料も多いので、ペーパーレスにつながっていけば、もっと、分かりやすく、開かれた議会になると思うので、努力していきたい。

モ 仕事の関係で、午前中は難しく、午後からなら休んで参加することも可能。そういうスタイルで議会が運営されていることが浸透すれば、自分も市議になってみようとする人も増えるかもしれない。今まで、前例にならうという説明が多かったが、コロナを経験して、変わっても何とかなると分かったので、柔軟に考えて、議会を午後からや夜から、または、日曜に開催するとかに変えることが可能なら、市民に目を向けてもらうチャンスがあると思う。

議 自分が思っていることを言っていた。皆さんの意見をどうしたら反映できるか、挑戦したい。

議 9時半開催にすれば、フルに時間を使っても12時に終わるので大賛成。日曜開催も、4日ある内の1日ぐらいはやってみたらどうかと思う。前に、休憩時間が寂しいので、音楽でも流したらどうかと言われたことがあるが、どうやったらできるか模索している。

モ 休憩中にブレイクタイム的に音楽でもあったらいいと思って話した。モニター制度ができて3年目に入り、モニターの出席が寂しくなった。モニターは皆さんの敵ではなく、一市民。モニターを育てていくことで、議会が盛り上がり、活性化につながる。このところ、議会報告会が開催されず、地域の皆さんの意見を聞くことができないが、その代わりに役割を果たしているのがモニターだと思う。モニターを介して市民に伝えることもできるので、それを上手くやりながら、開かれた議会の中でのモニターの役目を考えてもらいたい。

議 出来るだけ多くの方に来ていただいて、意見をいただきと思う。Zoomについては、いろいろな議員がいるが、全員が使えるようにテストが終わった状況になっている。引き続き、ルールを活用して、何かの機会にZoomで、オンライン会議の練習をするよう、声掛けをしていきたい。

議 前例踏襲ではないかとか、まずはやってみることだとか、議会改革についても言われているが、できる限り前向きに、過去の反省をしながら、将来を見据えて取り組んでいきたい。モニターの皆さんから、様々な提言をいただくことが刺激になっている。

議 会議の開始時間については、今までにいろいろな話があり協議してきたが、現状は、やはり、これがいいということで落ち着いている。今後も皆さんの意見を聞きながら進めていきたい。



【B班】(前半)

モ ホームページには議員の発言の全文が載っているのか、それとも割愛されたものが載っているのか。

議 数字や名称の修正がある場合もあるが、原則として議事録として全文が載っている。

議 原則は発言したことが載るが、削除しなければいけない言葉が出たときは、議場で議長が口上の中でそれを伝えるので、その個所は載っていない。また、後日、削除する場合もある。

モ 削除は誰が取り扱うのか。

議 議長が議場で伝える場合もあるし、簡易なものであれば後日、議長が削除する場合もある。
議 休憩中の発言も議事録には載らない。



モ 市民としては削除された内容を知りたいこともある。

モ 本会議等では、文書に書かれたことを話して、答えをもらっている形だと思うが、机上のものを読んで、机上のものを答えている印象しかない。来れないときに、Kビジョンで見ると、時間を割くのがつらい。フルタイムで働いている人にとって、モニターは厳しい。意見を反映して、活かせる意見交換会とかの機会が、コロナの関係で少

くなった。インターネットも使用できない人があるので、なんでもホームページを見てくださいという説明もどうかと思う。以前、議会運営委員会でクールビズ期間のジャケット着用について話があり、会派に持ち帰ることになったが、なぜ、その場で決められなかったのか。クールビズと言われているときに、即決できない人たちに、光市を任せてもいいのかと思った。

議 一般質問は、基本的に、項目を議長に通告することで内容を確定している。その後、執行部が確認の意味も込めて聞き取りをするが、市民に解かりやすいものになっているか等、質問の内容を精査するために行っている。質問や答えを机上で読み合っているだけでなく、再質問で議論を深めていくようにしている。服装については、議会運営委員会で協議したが、委員だけでなく、会派の他のメンバーの意見も聞く必要があるため、その場では決めていない。

モ 傍聴していても、執行部に対して、丁丁発止で突っ込まれたことはないように思う。服装についても、そんなことに時間をかけてやるより、もっと大事なことを議論してほしい。議員は選ばれてやっているので、自分の意見だけでなく、市民の意見も組み込んで執行部に質問し、提言をしてほしい。また、回答があったことについても、その後の進捗状況について問い質すことが必要だと思う。

議 一般質問は突っ込む人もいるが、議員それぞれでやり方が違うと思う。服装については、会派の他のメンバーの意見を聞くため、持ち帰ることもある。

モ 議員が質問した際、執行部の回答がもれていたことがあったが、議員が気付いていなかった。議員が執行部の答えをよく聞いていないのが分かった。

モ 本会議や委員会でも、質問に対して執行部は、棒読みで回答しているので、真剣に受けてないように感じる。もう少し本音の協議をお願いしたい。12月議会で、執行部の欠席について、議長への質問があったが、ルール違反ではないか。その上、市長にも答弁を求め、部長が答弁しようとするのを制止することがあった。また、アニメの題名をあげて、見たことはあるかと、プライベートなことを尋ねるのはいかがなものか。午前中の質問が多いと、12時をかなりオーバーするので、一般質問の開始時間を30分でも早めたらどうか。政治倫理条例改正検討特別委員会の協議がまとまらなかったが、もっと根回しが必要ではないか。



【B班】(後半)

モ 光市の財政難という制約の中で、どうすれば執行部が動くか考えてほしい。午前の本会議がどうしても12時を過ぎることが多いので、開始時間を早くするなど、工夫してほしい。4年間で



一回も質問しない人がいるが、何故なのか。1期目の議員は、ちょっと迫力がない気がするので、もっと勉強して、自信を持って質問してほしい。

議 光市議会では質問者が1日5人となっているので、質問人数の全体量を見直すことも必要。開始時間については、逆に早く終わることもあり、どちらがいいかわからないが、午前中は二人までと決めておけば、早く終わっても午後は1時からということで予定がたち、効率的な運営になるか

もしれない。

議 今は経済が縮小していく中で、どう運営すればいいのかが重要になっている。議会でも、公共施設のマネジメントや統廃合、財政健全化に対する質問が多くなっている。

議 一般質問については、市民の要望等を取り入れながら、欠かさずやっている。

議 一般質問は議員の権利で、自分の責任においてやっている。議員の仕事の一つでもあるので、できる限りやりたい。

議 1期目の議員として、一般質問は、なるべくほかの人が取り上げないテーマで、ちょっと脱線した質問もしている。ある程度の制約の中でやっていることも、理解をお願いしたい。

議 議員の発言については、議会運営委員会の中で、品位のある発言や行動をお願いした。

議 一般質問については、地方自治法の制約もあるし、会議規則の中でも、議長の許可のもとにやることになっている。それに外れると混乱を生じることとなるので、責任を持った発言でなければならない。

モ 議会にふさわしくない言葉というのがあったが、どういう言葉が適切で、どういう言葉が不適切なのか、具体的にどういう言葉があったのか、教えてほしい。

議 答弁を求める相手の、プライベートなことを聞いたりするのは、まずいかなと思う。今回の議会では、議長に尋ねたケースがあったが、一般質問は執行部に尋ねる場なので、ルールに逸脱していたと思う。

議 他の市のことを本会議場の一般質問で発言したが、後になって事実誤認であることが分かり、議事録から削除された事例がある。

モ プライベートといわれたが、市政に影響のあるプライベートの発言は、しなければいけないと思う。

議 政治倫理に関することは別として、答弁者の個人的な意見を聞くのはあり得ない話だと思ふ。例えば、番組を見たことがあるかとかを聞くのは、市政とは関係のない話だし、市長の代理としての答弁なので、私生活に関することは違和感がある。



モ 番組の話でも、市政に影響のあるプライベートなことなら、その発言を止めることはおかしい

と思う。

議 その背景にあるテーマを聞けばいいだけで、聞き方の問題なのかなと思う。

モ 1回の質問で多くのことを聞く場合があるが、どれに対する答えか分かりにくい。聞く人が分かりやすいように、質問を厳選してもらいたい。

議 以前は、一括方式の質疑応答だったが、分かりにくいということで、一問一答方式になった。ただし、最初に登壇席で全て質問した後、質問席に移動し、1項目ずつやり取りするので、以前よりは分かりやすくなったが、検討の余地はあると思う。

4 閉会行事（本会議場）

（1）各班代表モニターの発表

【A班モニター代表 古賀和人さん】

3年間モニターを務めているが、これほどモニターの数が減った中での意見交換会は寂しい。



コロナの関係で、モニターが集まる機会がなかったのが問題点だと思うが、研修会はやり方とタイミングを考えて、早いうちにやるべきだと思う。

今日の意見交換の中では、行政や議員が使う言葉は難しい、という意見があったので、今後の対応をお願いしたい。モニターをやっている中で言いたいのは、光市株式会社は社長が市長で、それを監視する監査役が市議会議員だと思う。財政が厳しい中で、監査役の仕事はより一層、厳しいものでなければなら

ないと思う。税金が正しく使われているか、行政に対してしっかりチェックし、問題点があれば、どんどん指摘してもらいたい。

最近では市民も関心がなくなる中、モニターも減っているが、我々を活用してもらいたい。モニターは議員の敵ではなく、市民の一員であり、代表として皆さんを選んだわけなので、市民への媒介としても活用してもらいたい。

コロナ禍では対話が大事だと思うが、対話できていない。意見交換会も工夫して、話ができる機会を多く持ってもらおう中で、いい意見が提供できるし、皆さんの役に立てればと思う。各地区での市議会報告会もコロナの関係で実施できてないが、各地区の皆さんの意見を聞いて、市民を巻き込みながら、行政に対しても厳しい目で対応してほしい。

【B班モニター代表 深來登さん】

3年間モニターをやってきて、どの程度、市民の問題を深堀してやってもらっているか、一番の疑問だった。その中で、一般質問でも委員会でも、よくできていると思うが、それに対してモニターがだんだん少なくなっている実情がある。

働きながらモニターをやることの難しさ等から、だんだん意見が少なくなっているような気がする。議員は個々でいろいろなやり方があり、それぞれの責任のもとにやっているとと思うが、もっと建設的に



市民が困っていることに足を運んで勉強し、お互いに議論しながら、物事を進めてもらいたい。

議員は、最終的には市民がどれだけ安堵した生活ができるか、改善するため働いている気がする。質問は大きな問題に対するものも、小さいものもあるが、市民の代表として、いろいろと指摘して、執行部に改善を求めることを一生懸命やっていることについては、いい面ではないかと感じている。

残されている大きな問題として、駅・教育・地域の生活の問題とかいろいろあるが、任期中に質問し、改善して市民に喜んでもらえるようにしてほしい。毎日の議員活動の中で、己に厳しく、市民にやさしくというのを念頭に、できれば各地区での市議会報告会も開催してもらいたい。

(2) 議会代表の発表

【森戸議会運営委員会委員長】

本日は厳しい意見も含め、たくさんの意見をいただいた。特に、委員会の傍聴について、コロナ禍で、本会議場の傍聴席での傍聴になっているが、工夫できないかという意見や本会議の開始時間を9時半にしたらどうか、という提言もいただいた。一般質問をYouTubeで見たが、もっとわかりやすい言葉を使ってほしいという意見もいただいている。また、一般質問でもっと勉強して質問に臨んでほしいという厳しい意見もいただいた。



これまでいただいたご意見は、真摯に検討して、一步でも二歩でもより良い議会のために参考にさせていただきたい。市民の代表ということを肝に銘じて、これからも議会活動に臨んでいきたいので、引き続きよろしくお願ひしたい。

【木村政治倫理条例改正検討特別委員会委員長】



本日はたくさんの意見や提言をいただき、市民の皆さんの叱咤激励が一つ一つ胸に刺さった。その中で、前例踏襲の話があったが、伝統と文化を重んじる議会でもあり、何ができるのか、何をやっていかなければならないのか、また、目的は何か、市民の皆さんの安全安心、皆さんの利益に叶うことを執行部とともに、意見・提言を求めながら、改革したいと考えている。

モニターと議員は敵同士ではないと言われたが、

厳しい意見をいただくことで勉強にもなるし、成長できる。執行部と議会も敵同士ではなく、二元代表制のもと、是々非々で考えている。これからも、市民の利益に叶うかどうか検討しながら、議決機関として働いて行きたい。



(3) 副議長あいさつ 林副議長